

平成29年度みやしろ健康福祉事業運営委員会第2回障害者福祉部会会議録

日時 平成29年12月14日（木）午後1時30分～午後2時35分

場所 宮代町社会福祉協議会2階会議室

出席委員 7名（加藤委員、石井委員、小林次祥委員、小林瀏委員、遠田委員、足立委員、荒木委員）

欠席委員 7名（松浦委員、山路委員、袴田委員、吉澤委員、佐々木委員、林委員、和田委員）

事務局 4名（福祉課：渡辺課長、宮野副課長、小林主査、中村主任）

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題

議題1 平成29年度みやしろ健康福祉プラン中間評価について 資料1

議題1について、事務局説明

部会長 何かご意見、質問等ありますか。

石井委員 資料1の3ページ、「施設入所・グループホーム等の整備誘導」の進捗状況が民間事業者への相談対応、支援方策の検討とありますが、具体的な支援策や方向性は決まっていますか。

事務局 内部検討をしています。新町長と意見交換をしたところで、詳細については発表段階ではありません。

石井委員 グループホームについて現実に施設は完成していますか。

事務局 家を借りる方式でやっています。既存の一軒家で4人と小規模でやっています。今回はオーナーさんに新しいものを2棟、一軒家形式で建ててもらって、それをグループホームとして運用することを相談しています。

石井委員 定員は満たしていますか。

事務局 現在は3床のうち2床で満床には達していません。

石井委員 民間企業の営利目的でやっていますか。

事務局 企業形態としては合資会社です。

部会長 : 他にご意見はありますか。なければ次の議事、②みやしろ健康福祉プランー障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画ー策定について、事務局から説明をお願いします。

議題2 みやしろ健康福祉プランー障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画ー策定について 資料2

議題2について、事務局説明

部会長 何かご意見、質問等ありますか。

石井委員 11ページで、身体障がい者が980人で、うち65歳以上が713人で72.8%とありますが、これは障がい者という取り扱いか、それとも介護保険という取り扱いですか。高齢で障がいが出るのであれば、介護保険になるのではないですか。単純に障がい者としてカウントをして計画に取り込むのはいかがなものかと思います。

事務局 65歳以上の高齢の障がい者をどう扱うかは計画を作るうえで考えるところです。なるべく介護のサービスを使える方は使ってもらうことを前提に、計画を見込んでいます。医療費の補助など関係なくやる事業もありますので、障がい福祉サービスとは分けて考えるものもあります。タクシー券や燃料給付など高齢福祉にないサービスもあります。

小林瀏委員 精神のほうでは、車を持っていないし、タクシーもあまり乗りません。年齢に関しては、精神障がい者は18歳未満が1人で、18～64歳は急に増えています。精神の場合は20～26歳くらいが一番多いです。65歳以上になると少なくなります。増えたり減ったりはつきりしないことがあります。ただ、親がいなくなるとどうなるか、国や役場のほうでお世話になるということもあると思います。

石井委員 介護サービスと一般的な福祉サービスがそれぞれ排除しようという意向ではないですか。区分けが身体障がい者の一括りは違うと思います。これは国の区分けのしかたですか。

事務局 区分けのしかたは、国から指定されたものではなく、これは一般的な概要を確認するためのものです。

石井委員 若い時から障がいを持っていて、高齢になった人と、高齢化で障がいになった人とを区分けしないと介護保険の意義が問われるのではないですか。

事務局 もう少し精密に、生まれた時から障がいがあったのか、年をとられて、後天的に障がいになったのかを見極める必要があるのかもかもしれません。

石井委員 30代で倒れたとしても、40歳になるのを待って通所サービスを使う。40歳にならないと介護保険を使えないからです。そういう人も当然います。ただ一概に介護保険と切り離して、区分けするというのも難しいと思います。(11ページのグラフには)注釈をつけてわかりやすくしてほしい。役所の管轄も福祉課と、介護保険で違いますか。

事務局 両方、またいでいる管轄もあります。高齢のサービスを使うのが原則なのですが、ない部分は障がい者サービスを使う必要がありますし、経過措置として、若い時から障がい者サービスを使っている人は、高齢になってもそのまま使ってもいいという扱いがあります。

小林瀏委員 担当、担当でやれば良いと思いますが、一緒にすると重なるところもあると思います。アンケートも精神だけのアンケートではなく、他の障がいと一緒にしています。

石井委員 将来の課題にしていだけますか。

事務局 具体的な状況を把握しておくのが、ベストだと思います。

荒木委員 21ページの「一人暮らしをしたい」、「施設で暮らしたい」がともに9.7%と他の障がい者と比べ高くなっています、とありますが、この値は高いのでしょうか。

事務局 他の障がい者と比べてということなので、高くなっています。このアンケートは障がい者手帳をお持ちの方にお送りしています。65歳以上の身体障がい者の方がボリュームゾーンとなっていて、この方は持家で暮らしている方が圧倒的に多いので、このパーセンテージで

高くなります。知的障がい者は若い方が多く、将来的にこう考えているということになりやすいです。

部会長 : 他にご意見はありますか。なければ、これまでとします。本日の議事は全て終了となりました。このあとの進行は事務局にお返しします。

事務局 次回の会議は1月11日の13:30に開催したいと思います。そのあとパブリックコメントでご意見をいただき、最終的に形にします。また2月2日の13:00に高齢者計画と合同での会議を予定しています。以上を持ちまして、本日の会議を終了させていただきます。

4 閉会